

3M耐衝撃性構造用接着剤07333

3Mの新構造用接着剤。耐衝撃性が高められた製品で、8115が外板用に設計されているのに対し、骨格への接着工法を前提に設計開発している。容量は200mℓ。

パッケージは写真の通り。大きさは同じだがラベルが異なっている。

中身がシルバー（8115は黒）で、ガンにセットしてからでも施工時に気が付きやすい。

また、接着剤は硬化の進行とともにシルバーから紫色へ変化する。2液の混合が正しく行われ、正常に硬化反応が進んでいることを目視で確認できる。

また、8115よりも粘度が低い。初めて使う時に心配になるかもしれないが製品の仕様である。

ルーフパネル取替のように大量の充填が必要な作業では楽になる一方で、ロッカーパネルやホイールアーチなど垂直パネルへの施工はタレに注意する。

オートミックス パネルボンド 8115



耐衝撃性 構造用接着剤 07333



ヘンケルジャパン テロソンEP5065

輸入車の骨格用構造用接着剤として採用実績があるヘンケル。同社にとって国産車の指定材料になるのは初めて。3Mと同じく耐衝撃性を強化した製品で容量は198mℓ。

国産車で初指定されたEP5065以外に、輸入車の指定材料として採用実績があるEP5055が、国内で流通している。

写真の通り、パッケージの違いは乏しい。容器の大きさは同じで、ラベルも商品の型番以外では判別が難しい。加えて中身も同じ黒色で施工時にガンへ装着してからではまず気付くことは難しい。

EP5065とEP5055では、EP5065のほうが粘度が低い。使い慣れてくればこの粘度の違いで判断できる場合もある。

また、粘度が低いため大量の充填には向いているが、垂直パネルへの施工時はタレに注意が必要。

テロソン EP5055



テロソン EP5065

